

音楽科における指導の重点（身に付けさせたい力） ※学習指導要領に照らし合わせて

曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。

	生徒の学力の状況（課題）	授業における具体的な改善策	手だての実施時期	成果検証（2月）
第1学年	聴いた音楽に対してどのような雰囲気を感じ取ったかは表現できるが、その思いに至った理由として要素や要素同士の関連を知覚・感受できない。	<ul style="list-style-type: none"> 要素を表す言葉を書いたカードを提示し、語彙を増やしていく。 グループ活動や生徒が主体的に学習に参加できるよう発問を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> 鑑賞单元ごと 	
第2学年	楽曲の創意工夫に対して思いや意図をもつことはできるが、表現にあらわれない。	<ul style="list-style-type: none"> ペア学習を通して、お互いが意図を表現まで落とし込めているか確認しあう。 端末で録画して客観的に自分の表現を聞き、改善していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 実技单元ごと 	
第3学年	楽曲の創意工夫に対して思いや意図をもつことはできるが、その思いや意図が音や音楽として表現されない。	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートやDVD、端末を活用した音の視覚化を図る。 パート練習においてパートリーダーを中心に指示を出せるように指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> 鑑賞单元ごと 実技单元ごと 	

■主体的・対話的で深い学びに関連して
 1年 他者と考えを共有し、それを実際の曲想に即して表現する。
 2年 } 実技の表現を他者と互いに聴き合う。
 3年 }

■1人1台端末の活用に関連して
 1年 発問の仕方等を工夫し、端末を使い意見交換ができるようにする。
 2年 録画機能を活用し、創意工夫を生かした音楽表現ができるようにする。
 3年 端末を利用したパート練習や録音機能を使った復習ができるようにする。